

講義名	企業論特別講義（サービス業）		
科目区分	特別研究		
担当教員	辻本 千春		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3時限		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	33042

主題と概要

日本は現在、サービス産業つまり第3次産業のシェアが産業全体の7割を占めています。特に重長厚大と言われた産業が新興国の価格競争を含めた技術追い上げにより衰退し、新しい産業が興りにくい状況の中、特に観光産業を含むサービス産業に活路を見出だそうとしています。

この企業論特別講義（サービス業）では、サービス産業としてこれからの時代を勝ち抜いていく企業、組織のトップ、経営幹部の方々にそれぞれの業界の現況、各企業の業務内容および将来へのビジョン等を熱く講義していただく予定です。

到達目標

- | | |
|----------|--|
| a. 知識・理解 | ・サービス業の先頭を走る企業の活動内容を理解することができる。
・これからのサービス業がどのように変わっていくかを理解できる。 |
| b. 思考・判断 | ・企業マネジメントの優れている点を説明できる。 |
| c. 関心・意欲 | ・企業のイノベーションについて述べることができる。 |
| d. 技能・技術 | ・自分のキャリアにおいて進みたい業種について理解または比較できる。 |
| e. その他 | ・学んだ企業マネジメントを他業種の企業に適用することができる。 |

提出課題

・毎回の講義についてレポートを書いてもらいます。

評価の基準

・平常点40%およびレポート60%とし、総合評価とします。なお、欠席、遅刻は平常点の減点対象とします。

履修にあたっての注意・助言他

- ・社会人、さらに企業や団体の経営幹部をお招きしての講義です。
- ・通常の講義でも当然ですが、私語や居眠りは厳禁です。これについては厳しく対処します。
- ・講義中の質問は加点します。

教科書

・使用しない。

プリント資料及び参考文献

各講義で配布されます。

授業計画

- 2月現在、下記の企業の講義が予定されています（交渉中も含む）。企業は変更になる可能性があります。（ ）内はキーワード
- ・（一社）大阪観光局（観光全体）
 - ・（株）近畿日本ツーリスト関西（総合旅行業）
 - ・西村屋本館・西村屋ホテル招月亭（城崎の最大旅館）
 - ・（株）王宮 道頓堀ホテル（インバウンド特化型ホテル）
 - ・（株）フリープラス（急成長のインバウンド旅行会社）
 - ・Airbnb Japan（株）（シェアリングエコノミー、共有経済）
 - ・レゴランド ジャパン（株）（外資系子供向けテーマパーク）
 - ・医療法人マックシール（関西初の国際認証を取得した医療法人）
 - ・（株）真正印刷（紙から情報サービスへ）
 - ・ピーチアビエーション（開空本拠地のLCC）
 - ・スイスポートジャパン（株）（空港の人・物ハンドリング）
 - ・関西エアポート（株）（開空・伊丹・神戸3空港経営、コンセッション）

予習・復習

復習・・・各講義ごとにレポートを提出してもらいます。
予習・・・次回講義における質問を考えるなどの課題を講義最後に連絡します。

備考

外部招聘講師のテーマと担当日程が決まり次第、公開します。